



過去 10 年で洪水被害が 2 倍以上となり、地震被害に肩並べる: スイス・リーの最新調査

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Corporate Communications, Asia
Telephone +852 2582 3912

Corporate Communications, New York
Telephone +1 914 828 6511

Investor Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

【チューリヒ 2012 年 9 月 6 日】スイス再保険会社(スイス・リー)は、洪水被害が驚異的なペースで増えており、洪水リスクの保険引受能力が保険業界特有の課題となっているとする調査報告をまとめた。「洪水一過小評価されているリスク: リスクの理解、共有、そして引受」と題するこの報告の発表と同時に、iPad (iPad) 用の洪水アプリもリリースした。

報告によると、被害者数は自然災害の中で洪水が最も多い。世界各地で起きた洪水の被災者数は毎年推定約5億人に達しており、洪水による保険金支払い請求額も巨額にのぼっている。1970年代には洪水による年間の保険金支払い請求額が10億ないし20億米ドルだったが、2011年にはこれが150億米ドルとなった。最近発生したタイ、オーストラリア、フィリピンでの洪水は、経済的損害額でみても今や地震やハリケーンに匹敵する金額になっていることを示した。

スイス再保険グループの最高引受責任者(CUO)であるマティアス・ウェーバー氏は「洪水とそれがもたらすリスクについて、より知ってもらうためにこの報告書を公表した。この報告書では、洪水保険における課題に取り組むには何が必要か、住宅所有者や企業にとって効果的な解決策にはどのようなものが考えられるかを示した」と述べた。

人口の増加、被害多発地域における資産の集中、気候変動のすべてが、洪水損害を増加させ、保険を付保する際の課題を作り出している要因である。

スイス・リーの洪水部門トップで、報告書の主要執筆者であるジェンス・メルホーン氏は「タイの洪水被害では120億米ドルもの保険損害が生じ、洪水が巨額の被害をもたらす可能性があることを浮き彫りにした。タイの洪水による保険損害額は、同国の年間損害保険料額の18倍に相当する金額だった」と述べた。

報告は、堤防建設や都市計画などリスク軽減策を保険会社としてどのようにサポートできるかを提示している。また国による洪水保険プログラムについても調査した。

最近起きたタイの洪水はまた、世界的なサプライチェーンと密接に関係している産業が洪水多発地域内に集中的に立地している「ホット・スポット」の存在を明らかにすることになった。このような地域は、国際的なサプライチェーンが途絶することで巨額の損失を被ることになる。スイス・リーが作成したグローバル・フラッド・ゾーンズ(Global Flood Zones®)モデルは、非常に高解像度の世界洪水マップで、これによって「ホット・スポット」を特定することができる。

スイス・リーはまた、iPad 向けの洪水アプリをリリースした。App ストアで入手できる。



編集者への注釈

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、元受保険、および保険ベースのリスク移転に関する、世界をリードするホールセールプロバイダーです。直接、またはブローカーを通じて取引を行う顧客基盤は、世界中の保険会社、中堅・大企業、公的機関に亘ります。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品まで、スイス・リーは、事業や社会の発展に不可欠な危険の引受を可能にする資本基盤、専門知識と革新力を備えています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界60カ所で事業拠点を展開し、スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「A1」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社であるスイス・リー・リミテッド(Swiss Re Ltd)の登録株式は、スイス証券取引所に上場しており、ティッカーシンボルSREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、www.swissre.com、またはツイッターの公式アカウント@SwissRe をご覧ください。